

局の目標(何をめざすのか)	局の使命(どのような役割を担うのか)
<p>○ 地下鉄事業については、さらなる健全化を進め、大阪圏・関西圏の交通インフラを支え、民営化を見据えて大阪の経済活性化に貢献する。</p> <p>○ バス事業については、25年度においても、引き続きキャッシュフローの確保に努めるとともに、民営化を見据えて官民の適切な役割分担を再構築したうえで、持続可能なバスネットワークの構築に取り組む。</p>	<p>○ 安心・安全・快適なサービスの提供</p> <p>○ 健全な経営体制の構築</p> <p>○ 民営化の推進</p>

平成25年度 局運営の基本的な考え方(何に重点的に取り組むのかなど、選択と集中の方針を示す)
<p>交通事業のさらなる健全化を進め、民営化によってお客さま、市民、大阪市、職員などそれぞれのステークホルダーへ貢献できるよう、事業の将来ビジョンを全職員で共有しながら、「全員参加の安全の追求」、「実感できるサービスアップ」、「徹底した効率化と増収対策による経営健全化」に取り組んでいく。</p> <p>特に、バス事業については、資金不足を生じさせない自立した経営基盤を確保するべく、コスト構造の更なる見直しを含めた抜本的な改革に取り組む。</p> <p>また、「地域サービス系路線」については、真に必要な移動手段の確保に向けて、関係局とともに取り組み、持続可能なバスサービスの維持を目指していく。</p>

全体概要

1 重点的に取り組む主な経営課題

主な経営課題	主な戦略	主な具体的取組(25年度算定見込額)
経営課題1 全員参加の安全の追求	【戦略1-1】 安全管理体制の充実	【1-1-1 安全管理体制の充実に向けた継続的取組】 安全研修施設の活用 ・全職員に対して、安全研修施設を活用した研修を実施し、安全に対する高い意識と感性を持ち行動できる職員を育成
経営課題2 実感できるサービスアップ	【戦略2-1】 明るく清潔感あふれる駅づくり	【2-1-1 清潔感のある快適なトイレへの改善】 ・リノベーション(大きさや配置変更等の改善)や、リモデル(内装の全面的な模様替え)を実施 [算定見込額 809百万円]
経営課題3 徹底した効率化と増収対策による経営健全化	【戦略3-1】 人件費・経費の見直し	【3-1-1 人件費の見直し】 ・中期経営計画に基づき、給与・勤務体系の見直しを実施
		【3-1-2 経費等の見直し】 ・あらゆる経費の見直し
	【戦略3-2】 増収・増客の推進	【3-2-1 駅ナカ事業の展開】 ・梅田駅、なんば駅、天王寺各駅での店舗展開 オープン予定 25年4月 天王寺 25年10月 なんば 26年4月 梅田 [算定見込額585百万円]

2 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営に向けた主な取組

取組項目	取組内容
○バス事業の民営化に向けた取組み	<p>○抜本的な人件費・経費の見直しなどに取り組むとともに、ネットワークのあり方やそれに基づく維持すべき地域輸送について、運行主体や公費負担のあり方などを区及び関係局とともに検討を進める</p> <p>○「地域サービス系路線」については、区長会からの要請を受け、地域サービス系路線の一般バス41系統及び目標値をクリアした赤バス3系統について、運行に必要な経費に対する財源措置がなされることを前提に交通局が1年間暫定的に運行</p>
○地下鉄事業の民営化に向けた取組み	<p>○民営化推進室において引き続き検討を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デューデリジェンスを実施するとともに、会社設立に必要な手続きを検討する</li> <li>・民営化会社の組織体制、人事労務体制等を検討する</li> <li>・民営化に向け、国その他の関係機関、金融機関との調整・交渉を行う</li> <li>・民営化を見据え、組織・労務課題などについて企業管理者の権限を最大限に発揮して、独自にスピード感をもった取組みを進める。</li> </ul>